

腹膜透析患者における腹部エコーを用いた腹膜評価の有用性の検討 ～腹膜厚と腹膜機能および腹膜透析離脱との関連～

この研究は、通常の診療で得られた記録を使って行われます。このような研究は、国が定めた指針に基づき、対象となる患者さまのお一人ずつから直接同意を得るかわりに、研究の目的を含む研究の実施についての情報を公開することが必要とされています。研究結果は学会等で発表されることがありますが、その際も個人を特定する情報は公表いたしません。

1. 研究の対象

2008年1月～2019年2月に当院腎臓病総合医療センターで腹部エコー検査による腹膜検査を受けた腹膜透析患者さま

2. 研究目的・方法

本研究の目的は腹部エコー検査を用いた経時的な腹膜評価の有用性を検討することです。

腹膜透析時または最終測定時の腹部エコーで測定した腹膜の厚さと関連する因子を同定します。また腹膜透析時または最終測定時の腹膜の厚さの推移、変化率を評価します。

3. 情報の利用拒否

情報が当該研究に用いられることについて患者さまもしくは患者さまのご家族等で患者さまの意思及び利益を代弁できる代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、「5. お問い合わせ先」までお申出ください。その場合でも患者さまに不利益が生じることはありません。

4. 研究に用いる情報の種類

年齢、性別、身長、体重、病歴、採血データ、腹部エコー検査のデータ 等

5. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

湘南鎌倉総合病院 腎臓病総合医療センター 田口慎也（研究責任者）

住所：〒247-8533 神奈川県鎌倉市岡本 1370-1

連絡先：0467-46-1717（代表）

（2019年8月14日作成）